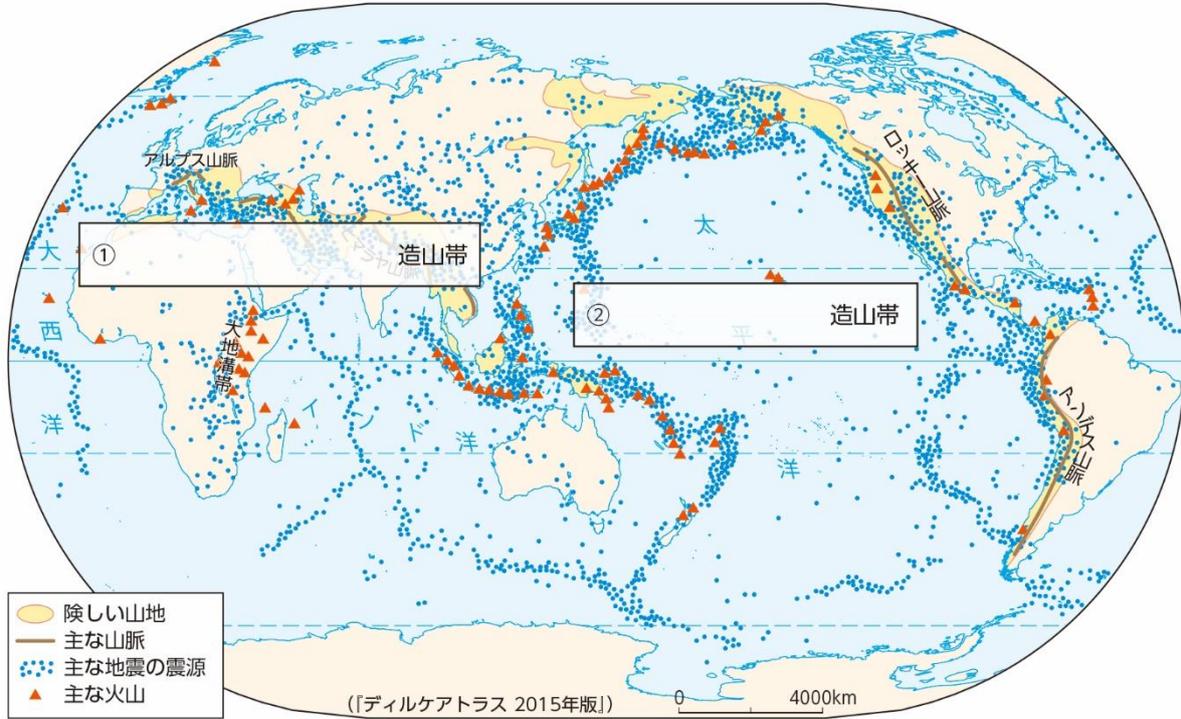


学習のまとめと表現

第2章の学習を振り返って整理しよう

教科書対応ページ p.172(参照するページ p.148~171)

②地図を使って確かめよう。



①地図中の にあてはまる語句を書き入れよう。

①	アルプス・ヒマラヤ造山帯	②	環太平洋造山帯
---	--------------	---	---------

②地形に関する次の文章の () にあてはまる語句を書き入れよう。

- ・日本は(a.)造山帯に位置し、山地や丘陵きゅうりょうが多いことが特徴とくちょうである。自然災害では、プレートの活動や断層による(b.), 梅雨や台風などが原因となって生じる(c.)が多い。

③人口に関する次の文章の () にあてはまる語句を書き入れよう。

- ・現在、日本の人口は約(d.)人であり、年齢別の人口構成をみると、子どもの数が少なくなる(e.)化と人口に占める高齢者の割合が高くなる(f.)化が進んでいる。
- ・日本の産業別人口構成では、(g.)次産業で働く人の割合が最も高い。

※d. の解答については、教科書の年次更新により変化することがあります。

a	環太平洋	b	地震	c	気象災害	d	1億2600万 (2020年現在)
e	少子	f	高齢	g	第三		

掲載されている解答は、一つの例です。
自分の解答が正しいか気になった場合は、
先生に質問してみましょう。



③表現しよう。

- ①【日本の気候】「季節風」という言葉を使って、夏と冬の太平洋側と日本海側の気候の違いについて文章にまとめよう。
(解答例) 教科書 p. 156 本文の記述などを振り返りながら。

夏：南東方向からの暖かく湿った季節風が太平洋側から吹き込み、太平洋側に雨を降らせ、日本海側ではこの季節風が乾燥して高温となり吹き下ろす。

冬：北西方向からの冷たく乾燥した季節風が日本海側から吹き込み、暖流が流れる日本海上を吹く時に水分を多く含むため、日本海側に雪を降らせ、太平洋側にはこの季節風が乾燥して吹き下ろし、晴天が続く。

- ②【日本の交通・通信】日本の新幹線や高速道路は、主にどのような人口や産業の特色がみられる地域を通っているか、地図帳などを使って調べ、まとめよう。

(解答例) 地図帳の関連するテーマの主題図や、教科書 p. 169 資料3、p. 171 資料3などを振り返りながら。

日本の新幹線や高速道路は、東京を中心として広がり、東京に一極集中する交通網となっている。東海道・山陽新幹線は、太平洋ベルトに位置する工業地帯・工業地域や大都市を主に結んでいる。本州の他の各新幹線は県庁所在地や観光都市、工業地域を結んでおり、九州新幹線は九州西部の主な都市を結んでいる。高速道路網も主な都市間を結ぶものとなっている。

④意見^{こうかん}を交換しよう。

- * 「自然環境(p. 148 資料4, p. 154 資料2)」、「人口(p. 148 資料1, p. 165 資料4・5)」、「資源・エネルギーと産業(p. 148 資料3, p. 169 資料3)」、「交通・通信(p. 149 資料6, p. 171 資料3)」などの地図を参考にして地域区分図を作成しよう。作成した図をもとに、分布や地域に着目して意見を交換し、分析を深めよう。

[解説] 「自然環境」、「人口」、「資源・エネルギーと産業」、「交通・通信」の各テーマを表す、複数の日本の主題図から「分布」や「地域」に着目して意見交換させたい。学習指導要領解説に示されている、「なぜそのような分布の規則性、傾向性を示すのか」(分布)、「その地域は、どのような特徴があるのか」、「この地域と他の地域ではどこが異なっているのか」、「なぜ、ここ(この地域)はそのようになったのか」(地域)といった問いなどを通じて、地域の特色を明らかにしていきたい。